

漁港漁場整備事業の推進に関する技術開発の方向の概要

漁港漁場整備事業の推進に関する基本方針

I. 漁港漁場整備事業の推進に関する基本的な方向

II. 漁港漁場整備事業の効率的な実施に関する事項

III. 漁港漁場整備事業の施行上必要とされる

技術的指針に関する事項

IV. 漁港漁場整備事業の推進に際し配慮すべき環境との調和に関する事項

V. その他漁港漁場整備事業の推進に関する重要事項

II. 漁港漁場整備事業の効率的な実施に関する事項

5. 技術の開発に関する事項 (1) 技術の開発・普及

漁港漁場整備事業に関する施策などを着実に推進するため、Iの「漁港漁場整備事業の推進に関する基本的な方向」に従い、研究機関などとの連携を図りつつ、安全で高鮮度の水産物を安定的に供給するための漁港における品質・衛生管理技術、海水温上昇等の気候変動に対応するための藻場・干潟・サンゴ礁の保全・創造技術、海域の基礎生産力の増大などを目的とした沖合域での漁場開発技術、地震や津波に対して災害発生後の漁業の継続や早期再開を図るための防災・減災技術、漁港施設などの既存ストックを最大限に活用するための維持保全技術、ICTの活用による漁港施設や漁場の高度な管理技術など、**優先して取り組む技術課題を定め、現場における効果の検証を行いつつ、計画的に技術の開発を図る。**さらに、漁港漁場整備事業にかかる技術者の育成を図り、その知識の高度化を進める。

政策課題（漁港漁場長期計画の目標）の解決へ向けて、優先して取り組む技術課題等を取りまとめ

優先して取り組む技術課題

水産業の競争力強化と輸出促進

- (1) 漁港機能の再編・集約による地域における生産・流通機能の強化
- (2) 流通拠点となる漁港の機能の強化
- (3) 生産コスト縮減に向けた地域の中核的な漁港の機能の強化
- (4) 水産物輸出に対応した生産・流通体制の整備

豊かな生態系の創造と海域の生産力向上

- (1) 栽培漁業や資源管理施策との連携を踏まえた水産資源の保護・育成
- (2) 藻場・干潟・サンゴ礁の保全・創造
- (3) 水域環境の変化に対応した順応的な漁場整備の推進

大規模自然災害に備えた対応力強化

- (1) 漁港の防災・減災対策の推進
- (2) 安全な漁村の形成

漁港ストックの最大限の活用と漁村の賑わいの創出

- (1) 既存ストックの長寿命化対策の推進
- (2) 漁村における環境の改善
- (3) 水産業を核とした意欲のある取組の推進

施設の整備・維持管理等の効率的な実施

- (1) 漁港・漁場施設の設計手法の高度化
- (2) 漁港漁場整備等へのICT及びロボット技術の活用
- (3) 国民に開かれた事業制度と民間活力の導入

漁港・漁場・漁村における環境との調和

- (1) 自然環境に配慮した漁港漁場整備と漁港・漁村のエコ化等の促進
- (2) 循環型社会の構築に向けた取組